

Multi-function JUMP STARTER

ITO-10000

ユーザーマニュアル

88HOUSE

はじめに

この度は“マルチファンクション ジャンプスターター ITO-10000”をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品には、電気自動車にも搭載され、最も安全と言われている“LiFePO4”リン酸鉄リチウムイオンバッテリーを採用しております。安心してご使用いただける製品でございます。本製品の十分な活用と安全なご使用のために、取扱説明書はいつも手元に置き、よくお読みの上ご使用ください。

安全上のご注意

(必ずお守りください。)

取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害と財産を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

警告

- 小さいお子様の手の届かない場所で使用、保管する。
- 使用後は必ず、ケーブルを抜いて保管する。
- 使用後は、付属のケースに入れて保管する。
- 本体から電解液が漏出している場合や異臭がするときには直ちに火気より遠ざけて使用を中止する。
- 本体から電解液が漏出している場合は、直接触れない。万一皮膚に付着または目に入った際には、こすらずに水道水などのきれいな水で充分洗った後、直ちに医師の診療を受ける。
- ジャンパーケーブルやUSBケーブル、シガーケーブルは根元まで確実に差し込む。
- 本製品に異常を感じたら、直ちに使用を中止する。
- 本製品にあらかじめ付属されたジャンパーケーブル、USBケーブル、シガーケーブルを使用すること。予期せぬ事故や感電、けが、発火および火災、または本製品や自動車の故障、破損の原因となります。
- 本製品は、換気の良い環境でお使いください。
- 故障のまま使用しない。故障の状態で使用すると、本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。
- 手やケーブルなどが濡れた状態で本製品を使用しない。
- ガソリン・オイルなど可燃物の周辺や法令で第一類・第二類危険個所に指定されている場所では使用しない。
- 本体を水の中に入れない、または、雨や湿気にさらさないようにする。
- 本製品を接続した状態で車を走行させない。
- 濡らしたりしない。
- 加熱したり、火や水の中に入れない。
- ケーブルの被覆が破れた状態で使用しない。
- 端子類を指で触れたり、異物を入れない。
- 直射日光があたる場所や、夏季の車両内など気温45℃を超える環境および湿度70%を超える環境で保管しない。



警告

- 分解や改造はしない。
- +45℃を超える環境や-10℃を下回る環境で保管しない。
- 本体・付属ケーブルを落下させたり、衝撃を与えない。
- 本製品の出力端子同士や本製品の出力端子と他製品の出力端子を接続しない。感電、火災、発熱、発火、破裂、けがの原因となります。
- 電子レンジや高圧容器に入れない。
- ペットなどの動物に本体を触れさせない。
- ジャンパーケーブルの赤と黒のクリップを同一端子へ接続、逆接続および車両との接触をさせない。
- 本製品を接続した状態で、3秒以上クランキングを行わない。
- ジャンプスタートに失敗した場合は、ジャンプスタートを中止してください。本製品の出力電流使用を超えているか、バッテリー上がり以外の原因が考えられます。そのままジャンプスタートを行った場合、本体故障の原因となります。
- ジャンプスタートをする時は、本体の電池容量がLED3つ以上あることを確認してから行う。
- ジャンプスタートを連続で行う場合、5分以上の間隔を空けて行う。(本体電池が熱い状態だと、温度保護が起動しジャンプスタートができません)
- 24V車のジャンプスタートは行わない。本製品は12V車専用です。
- LEDライトを直接のぞき込まない。
- LEDライトを人の目に向けて照射しない。
- 本体の充電をしながら本製品を使用しない。
- 満充電の状態で充電をしない。
- 本体や付属ケーブルがエンジンなどに巻き込まれないように注意する。

1.構成部品一覧表

- | | | | | | |
|-----------------|----|-----|------------------|----|-----|
| 1. 本体 | —— | 1pc | 2. H901ジャンパーケーブル | —— | 1pc |
| 3. H933 USBケーブル | —— | 1pc | 4. キャリングケース | —— | 1pc |
| 5. ユーザーマニュアル | —— | 1pc | 6. L1605 USB充電器 | —— | 1pc |

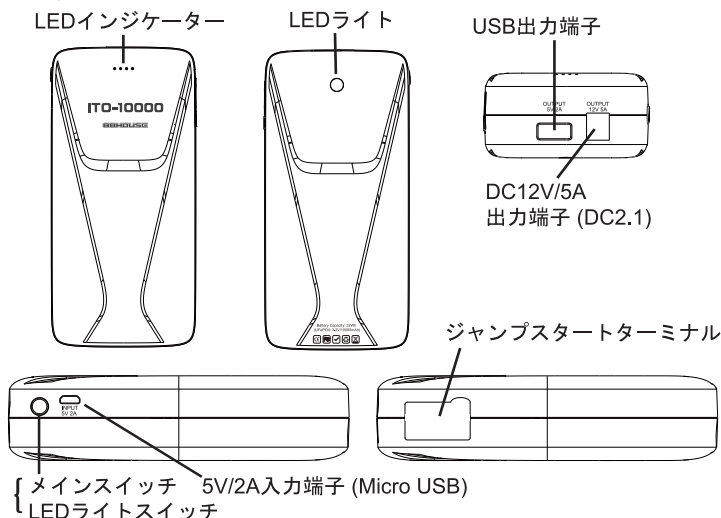
2.仕様

1. 使用電池: LiFePO4
2. 電池容量: 10000mAh (3.2V)
3. 出力: DC12V/400A(ピーク) (*ジャンプスタートの場合)
DC12V/5A (端子外径5.5mm、内径2.1mm)
DC5V 2A (USB出力)
4. 入力: DC5V/2A (Micro USB入力)
5. ジャンプスタート電流: 200A (400A ピーク)
6. ジャンプスタート対応車 (目安): 3000cc以下の12Vガソリン車, 2000cc以下の12Vディーゼル車
(*エンジンサイズは目安です。車種やジャンプスタート条件によりエンジンがかからない場合がございます。)
7. 本体充電方法: H933 USBケーブルとL1605 USB充電器
8. 本体充電時間: 4~6時間
9. 残量インジケータ: 4個のLEDにて表示 (25%/50%/75%/100%)
10. LEDライト機能: 3モード (点灯 / 点滅 / SOS信号) の切換えが可能
11. 電池サイクル寿命 (目安): 1000回以上
12. 使用温度: -10℃(14° F) ~ 45℃(113° F)
13. 充電温度: 0℃(32° F) ~ 40℃(104° F)
14. 保管温度: -10℃(14° F) ~ 45℃(113° F) (湿度: 70%以下)
15. 寸法: 140mm(H) x 67mm(W) x 34mm(D)
16. 重量: 約406g
17. 別売付属品: H906 OBDII バックアップケーブル / H930バックアップケーブル / H932 シガーケーブル
18. 安全認証: CE / Rohs L1605 USB充電器: PSE

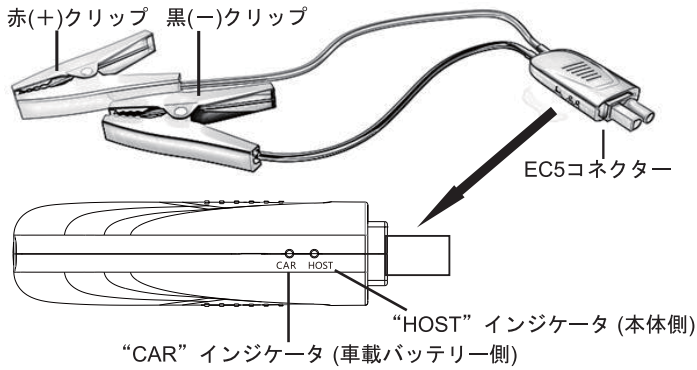
*PSEマークについて: 本製品のリチウム電池は体積エネルギー密度が400Wh/L未満のため、本体へのPSEマークは表示対象外です。

3. 本体・付属品各部の名称と働き

■本体



■H901ジャンパーケーブル



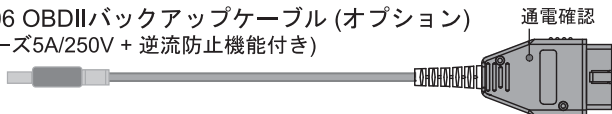
■L1605 USB充電器



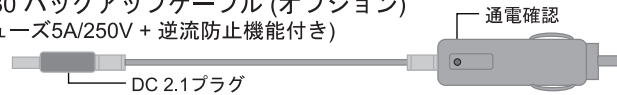
■H933 USB 出力 / 入力兼用ケーブル



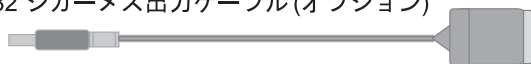
■H906 OBDIIバックアップケーブル (オプション) (ヒューズ5A/250V + 逆流防止機能付き)



■H930 バックアップケーブル (オプション) (ヒューズ5A/250V + 逆流防止機能付き)



■H932 シガーメス出力ケーブル (オプション)



4. 使用方法

4-1. メインスイッチとLEDライトスイッチ

1. メインスイッチを押します。
2. LEDインジケータが本体の残量を下記のように表示します。

■残量レベル:

●●●●	100%	●	25%
●●●	75%	● (点滅)	5%~1%
●●	50%	○ (全消灯)	0%

4-2. LEDライト

1. メインスイッチを3秒以上長押しします。LEDライトが点灯したら、メインスイッチを軽く押し下記のようにライトモードを切替えることが出来ます。



4-3. ジャンプスタート

		警告 / 注意	
		P1~P2の“安全上のご注意”をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。	

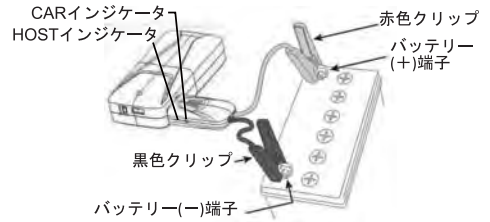
1. メインスイッチを押して、残量インジケータが3個以上であることを確認します。
2. ジャンパーケーブルのEC5コネクタを本体のジャンプスタートターミナルにしっかり奥まで差し込みます。CARインジケータとHOSTインジケータは安全状況を下記のように表示します。

No.	HOST	CAR	警告ブザー	電源	状況	対応方法
1	N	N	ピー	OFF	温度保護作動	仕様温度範囲内で使用する
2	赤	N	ピー	OFF	電池容量無し	本体に充電する
3	緑	赤	ピー	OFF	短絡	(+) (-) クリップを正しく接続する
4	緑	赤 (点滅)	ピー	OFF	逆接	(+) (-) クリップを正しく接続する
5	緑	N	N	OFF	車載電池に接続してない	車載電池にクリップを接続する
6	緑	N	N	OFF	車載電池 <1.5V	ジャンプスタート不可
7	緑	緑	N	ON	車載電池 1.5V ~ 15V	ジャンプスタート可能

*No7 車載電池電圧が低い場合、No.10 または No.11 の結果によりエンジンがかからない場合があります。

No.	HOST	CAR	警告ブザー	電源	状況	対応方法
8	緑	緑 (点滅)	N	OFF	車載電池 > 本体 (逆流保護作動)	ジャンプスタート不可
9	緑	黄 (点滅)	ピー	OFF	車載電池 > 15V	ジャンプスタート不可
10	黄	緑	ピー	OFF	オーバーロード	対象車は本製品の出力可能範囲を超えています。
11	緑	N	ピ、ピ、ピ、	OFF	クランキング 3秒超過	対象車は本製品の出力可能範囲を超えています。
12	緑	緑 (点滅)	ピ、ピ、ピ、	OFF	タイムアウト 通電 30 秒経過	再度行ってください。
13	緑	緑 (点滅)	N	OFF	エンジン起動OK (逆流保護作動)	ジャンプスタートを終了してください。

3. 赤色クリップを車載バッテリーのプラス (+) 端子に、その後黒色クリップをマイナス (-) 端子に接続します。

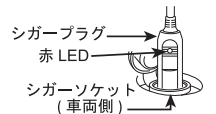


4. ジャンパーケーブルのCARとHOSTのインジケータが緑になったら、30秒以内にエンジンをスタートします。30秒以内にエンジンをスタートしない場合、接続が自動的にOFF状態になり、警告音がなります。
 5. エンジン起動後、ジャンパーケーブルのEC5コネクタを本体から外します。その後、車載バッテリーの端子から黒色クリップを外し、次に赤色クリップを外します。
- * エンジン起動後、ジャンパーケーブルは車両からの逆電流に対して本体を保護します。(上記表No.13の動作となります)
- * ジャンパーケーブルが通電中のときは、赤黒のクリップ同士をショートしたり、他の機器に接続しないでください。本体破損の原因となります。

4-4. バックアップ電源 (メモリーセーバー)

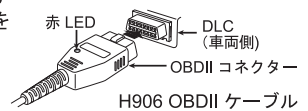
1. H930バックアップケーブルを用意します。
2. 車両のライト類 (室内灯含む) をすべてOFFにします。
3. メインスイッチを押した後、DC2.1プラグを本体側に、シガープラグを車両側のシガーソケットに差し込みます。(赤色のインジケータが点灯すると、バックアップケーブルが導通していることとなります)
4. 車両側の時計や機器がONになったことを確認します。(もしONにならない場合、シガープラグの中のヒューズを交換します。)
5. イグニッションキーをACCの位置に回した後、車載バッテリーの交換をします。

*車種によりシガープラグでのバックアップができないことがあります。その場合、オプション品のH906 OBDIIバックアップケーブルをご使用ください。



*H906 OBDIIバックアップケーブル(オプション品)を使用した場合;

1. 上記2番の後、メインスイッチを押してからDC2.1プラグを本体側にOBDIIコネクタをDLC (車両側) にしっかり差し込みます。
2. 赤LEDがONになったことを確認します。
3. 車載バッテリーを交換します。



4-5. スマートフォン、タブレット、USB機器への充電

1. メインスイッチを押してください。
 2. H933 USBコネクタを本体のUSB出力端子に差し込みます。
 3. Micro USBコネクタをスマートフォン、タブレット、その他対応機器に差し込みます。
- *もし充電が始まらない場合、メインスイッチを押して本体を起動させてください。

4-6. 本体の充電

1. H933 USBコネクタをL1605 USB充電器に差し込みます。
2. Micro USBコネクタを本体のMicro USB入力端子に差し込みます。

5. 保管

1. 長期保管する場合は6カ月に一度充電をしてください。
2. バッテリーの寿命は保管温度によって影響を受けます。23℃前後での保管を推奨します。

6. 保証規定 : 保証期間はご購入日より1年間です。

1. 取扱説明書などの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。修理を依頼する際は、ご購入日、書かれたレシートまたは納品書を添えてご返品ください。
2. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責任を負わないものとします。
3. 不当な改造については弊社は一切の責任を負わないものとします。
4. 修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、または送付される場合の送料および諸掛りはお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は適切な梱包のうえ、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段(簡易書留や宅配など)をご利用ください。
5. 次のような場合には、保証期間内でも保証の対象となりません。
 - (1) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷。
 - (2) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷。
 - (4) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換。
 - (5) お買い上げ年月日、お客様名、販売店名が分からない場合。
 - (6) 本製品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷。
 - (7) 本製品に接続している弊社指定以外の機器及び消耗品に起因する故障及び損傷。
 - (8) ケーブル類の破損、内部バッテリーの劣化は対象外となります。
6. ご不明の点は、お買い上げの販売店にご相談ください。